

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	宇宙・航空分野の戦略的研究開発・国際展開の推進		担当部局庁	研究開発局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	宇宙開発利用課	宇宙開発利用課長 佐伯 浩治		
会計区分	一般会計		施策名	X-6 宇宙・航空分野の研究・開発利用の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	宇宙基本計画 (平成21年6月2日宇宙開発戦略本部決定) 新成長戦略 (平成22年6月18日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定)で掲げられた「宇宙先進国としての国際的評価の確保」等を目的として、我が国における、宇宙外交や国際協力の推進、宇宙システム海外展開へ貢献。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①我が国の宇宙開発利用及び航空科学技術を総合的・効率的に推進するため、宇宙開発利用等に係る国内外の動向調査、その他の事務を行う。 ②宇宙分野の国際会議等に積極的に参加して、我が国の意向を反映しつつ国際協力・調整を行う。二国間の国際協力・調整を積極的に進め、宇宙分野の戦略的な国際展開を図る。 ③我が国の宇宙開発利用に関する国際動向・分析機能強化のため、政府職員を諸外国の宇宙政策等の中核をなす専門家のもとに派遣し、調査・協力業務に当たらせることにより、宇宙分野の国際動向・技術動向の情報収集体制を強化する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算			82.3	97.8	97.8
		繰越し等			0		
		計			82.3	97.8	97.8
	執行額			70.4			
	執行率(%)			85.50%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	我が国における、宇宙システム海外展開への参画、宇宙国際協力の推進や、国際的競争力強化等を図ることで、我が国の宇宙先進国としての国際的プレゼンスの確保に貢献(事業実施を支える事務費及び人材育成に係る事業であるため、定量的な成果目標を設定することは困難)	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	国内外での動向調査、国際会議への参加等の実績(回数)	活動実績 (当初見込み)		-	-	107	-
				( )	183	212	
単位当たりコスト	0.4百万(円/回数)		算出根拠	平成23年度職員旅費、委員等旅費、在外研究員旅費/平成23年度国内外への同行調査、国際会議出席等の予定回数 0.4百万円=41.7百万円/107回			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	非常勤職員手当	4.8百万円	4.8百万円				
	諸謝金	0.3百万円	0.3百万円				
	職員旅費	22.7百万円	23.1百万円				
	委員等旅費	2.2百万円	3.0百万円				
	在外研究員旅費	29.8百万円	29.8百万円				
	庁費	24.8百万円	23.7百万円				
	地球観測技術調査研究委託費	13.2百万円	13.2百万円				
計	97.8百万円	97.8百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	宇宙の開発及び利用は、安心・安全で豊かな社会の実現のほか、宇宙に関する人類共通の知的資産の拡大等にも貢献する分野であり、国家戦略の下で政府をあげて推進していくべきものである。また、我が国は、「新成長戦略」(平成22年6月閣議決定)や「宇宙基本計画」(平成21年6月宇宙開発戦略本部決定)の方針に基づき、官民一体となり、衛星等の宇宙インフラのパッケージによる海外展開を積極的に推進するものであることから、政府が主体となって推進することが必要な事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めた。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成23年度においては、アフリカやアジア等の宇宙新興国と会談等を行い、コンゴ民主共和国との間で衛星分野の人材育成に関する協力文書を締結するなど、一定の成果をあげた。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。今後も引き続き、単位当たりのコストの削減等を検討し、引き続き事業の効率的な実施に努めていくものとする。また、今後の事業の実施に当たっては、予算規模と国民のニーズを踏まえ、引き続き適切に実施していくものとする。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業評価の観点: この事業は、新成長戦略で掲げられた宇宙先進国としての国際的評価の確保等を目的として、我が国における、宇宙外交や国際協力の推進、宇宙システム海外展開へ貢献するための支出であり、長期継続事業に当たる。</li> <li>2. 所見: 当該事業は、概ね計画通りに予算執行されたものと考えられるが、更なる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。</li> </ol>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	予算執行の実績を的確に把握して執行額と予算額との差異の要因等を十分精査し、回数や日数等積算単価の見直しに努めたことにより、概算要求に▲4,387千円反映した。		

補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

【平成22年度行政事業レビュー】

●事業番号:0293

●事業名:宇宙開発関係者の海外派遣

1. 事業評価の観点:この事業は、宇宙開発利用の関係者を海外に派遣し、国際協力等を行う長期継続事業であり、平成21年度は予算の執行率も低くなっている。

2. 所見:20年以上続く長期継続事業であるが、専門性の涵養の観点から一定の必要性が認められる。ただし、短期の派遣について、IT技術の発達等を受けて実施する必要性が低下してきていることから、廃止するとともに、長期の派遣について、宇宙分野の国際関係事業が本事業以外にも存在していることから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、予算執行の実績を的確に把握し、予算との差異の要因等を十分精査しつつ、予算を縮減すべきである。

●事業番号:0296

●事業名:宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進

●予算監視・効率化チームの所見

1. 事業評価の観点:この事業は、文部科学省が担う宇宙開発利用の推進のために必要な事務を行う長期継続事業である。

2. 所見:20年以上続く長期継続事業であり、現行のままの一つの事業として存続しなければならない特段の必要性が認められないことから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、特に外国関係旅費に係る積算を見直し、予算を縮減すべきである。

【平成23年度行政事業レビュー】

本事業は、平成21年度行政事業レビューの指摘を踏まえたものとなっており、執行面における課題もなく、事業の成果目標もたてられていることから、適切な事業と認められる。

【関係する計画・通知等】

●宇宙基本計画

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/utyuu/keikaku.html>

●新成長戦略

<http://www.kantei.go.jp/jp/sinseichousenryaku/>

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年行政事業レビュー	293,296	平成23年行政事業レビュー	59,285,286
---------------	---------	---------------	------------

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

[A] 文部科学省 70.4百万円	非常勤職員手当	4.5	百万円
	職員旅費	15.2	百万円
	委員等旅費	3.6	百万円
	在外研究員旅費	22.9	百万円
	庁費	24.2	百万円

※庁費は消耗品の購入等であり、1件百万円以上の支出はない。

我が国における、宇宙システム海外展開への  
貢献、宇宙外交の推進や、国際的競争力強  
化等の観点から事務事業を実施

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位:百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
在外研究員 旅費	宿泊費・日当・交通費等	22.9			
庁費	事務補佐員の賃金及びコピー機使用 料等	24.2			
職員旅費	ロケット打上げ対応等	15.2			
非常勤職員 手当	調査員手当	4.5			
委員等旅費	会議出席者への旅費等	3.6			
計		70.4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げとは一致しない。